



科学館友の会通信



友の会通信では、研修会の報告や科学館からのお知らせなど、さまざまな情報をお届けします。今回は第4回から8回までの研修会の様子と、今後の行事予定についてのお知らせです。

— 令和7年度 活動報告 Part II —

第4回研修会 9月13日(土)・14日(日)『鳥人間コンテスト強豪チーム「東北大学ウインドノーツ」の秘密に迫る!~大会出場機体に搭乗してみよう!~』参加者：20名

13日は「東北大学ウインドノーツ」のサポーターであり、友の会役員でもある中澤堅一郎先生に講師を、14日は鳥人間コンテスト2025に出場した人力プロペラ機的设计担当とパイロットの学生に講師を務めていただき研修会を行いました。中澤先生には、機体の特徴や翼に揚力がはたらく仕組みについて、実験を交えながら分かりやすく説明をしていただきました。2人の学生には、大会出場に至るまでの努力や苦労について熱弁していただきました。両日ともに研修会の最後には、コンテストで実際に使用したコックピットへの搭乗体験も行いました。当日は、ウインドノーツ所属の学生にも運営補助として多数参加していただき、大盛況の研修会となりました。



第5回研修会 10月5日(日)『キノコを探して』参加者：16名

今回の研修はきのこ展の開催日に合わせて実施しました。当日は天気にも恵まれ活動しやすい気候の中、開催することができました。講師は仙台キノコ同好会の木村栄一先生他同好会員1名で、台原森林公園を会場に実施しました。公園内の散策路へと入っていき、散策路脇に見られるキノコを観察・採集しながら進みました。今年の猛暑の影響で残っていた夏キノコと秋キノコが混ざりさまざまなキノコを見ることができました。目を輝かせながら大小さまざまなキノコを採集する会員の皆様の姿が見られました。最後は採集したキノコを並べ、講師の方より似ているキノコの見分け方や身近にも見られる毒キノコについての注意など、詳しく教えていただきました。



第6回研修会 11月23日(日) 『化石クリーニング体験会』 参加者：16名

太白区富田での化石採集会の代替研修として、化石クリーニング体験会を行いました。友の会役員佐藤正道先生と科学館職員が講師となり、福島県棚倉町の貝化石と仙台市青葉区奥武士の植物化石のクリーニングを行いました。標本は、講師の佐藤正道先生よりご提供いただきました。今回の貝化石は崩れやすいため、水とき木工用ボンドを塗りながら丁寧に作業を進めました。以前の化石採集会で実際に採集した「タカハシホタテ」を持参した方もいて、見事にきれいな貝化石をとり出せました。最後にラベルをつけて、ただの化石を立派な「標本」にすることができました。



第7回研修会 12月21日(日) 『ドローンを使ったプログラミング教室』 参加者：12名

特別展示室で「ドローンを使ったプログラミング教室」を開催しました。講師は友の会会長の日下孝先生と顧問の岩本正敏先生です。この教室では、初心者でも簡単に学べるスクラッチというプログラミング言語を使用しています。ドローンは一般的にリモートコントロールで操作することが多いですが、プログラミングすることで人の手から離れた後は自律して飛び回ることもできます。ドローンは自分の位置をセンサーで正確に把握することで、決められたルートを飛行することができます。参加者は真剣にかつ楽しみながら、思ったとおりにドローンが飛んだ時には喜びの声が聞こえてきた教室になりました。

第8回研修会 1月25日(日) 『シャボン玉の科学』 参加者：18名

講師は友の会役員永沼孝敏先生と國井恵子先生に務めていただき、誰もが遊んだことのあるシャボン玉に関する実験を行いました。最初に、オリジナルのシャボン液を作成しました。台所用洗剤や洗濯用洗剤、洗濯のり、グリセリンの配合を自分で考え、楽しく探究していました。自分で作成したシャボン液を用いて、いろいろなシャボン玉を作りました。最初はしっくぱくしていましたが、皆終わるころにはシャボン玉名人のように自在にシャボン玉を飛ばしていました。その後、シャボン玉をライトで照らし、シャボン玉の膜の色を観察したり、ドライアイスを用いてシャボン玉を凍らせてみたり、たくさんの実験ができて、楽しい研修会となりました。



第7回研修会の様子



第8回研修会の様子

【友の会継続手続き開始】 新年度の継続手続きを3月1日より開始いたします。新年度もご入会の

ほどよろしくお願ひいたします。新年度の予定は随時科学館ホームページに掲載しますので、ご覧ください。